

福岡でのロコモ啓発運動の現状を市との共同活動を通して紹介した。2017年ロコモコーディネーター（LC）資格取得研修会が福岡で開かれ、184名の有資格者（うち福岡県145名）が誕生した。

半年後に福岡市がロコモに関するアンケートを行い、85名から得られた現在の活動内容に関しては、所属機関での活動が5割以上、地域サロン活動が13%、市民公開講座が6%だったが、特に何もしていないLCは4割程で、活動方法を模索しているのが伺えた。

研修会の参加や市のロコモ啓発イベントへの協力も多くが賛成したが、12%の協力できない主な理由は遠方だから、ということだった。

アンケート結果を基に半年後にロコトレ・ロコチェックの実際とリスク管理の研修会と意見交換会が行われた。

研修会や意見交換会の評価は良好で、皆の活動状況がわかって良かったとの感想が聞かれ、市が始めるロコモ啓発イベントへの参加協力も9割以上の人が賛成だった。

後押しされ、3か月後に市の市民参加型ロコモ啓発イベントが始まり、令和1年度は10月11日（木）エルガーラ広場で参加者429名（LC2名）、2月5日（火）イオンモール香椎浜で参加者457名（LC2名）、3月16日（土）福岡国際会議場でのアラカンフェスタで参加者5,000名（LC5名）の3回が開催され、令和2年度も計3回のロコモ啓発事業が続けられている。

今後所属機関でのLC活動だけでなく、地域でのLCによるロコモ予防活動が盛んになる状況が期待され、そのために福岡市に以下の3つの要望を行っている。

1つは現在のロコモの認知度向上の活動を持続していただくこと、2つは、LCが行うロコトレは3大介護要因（骨関節疾患、認知症、脳血管障害）に貢献できるというご理解、3つはLCが仕事に従事している地域での、区や包括支援センター単位でロコモ啓発予防活動を活発化して戴きたい。